

## 試聴会・訪問記収載

### シマムセン TIMELORD 製品試聴会報告 (2025.7.12)

#### 1. はじめに

シマムセン CYMA で開催された TIMELORD 製品試聴会に行ってきました。

#### 2. 開催要項と使用機器

開催スケジュールや使用機器などは下記のとおりです。



日時 2025年7月12日(土)

第一部 13:00～14:30 (Chord Electoroniccs 中心の回)

第二部 15:00～16:30 (KUDOS 中心の回)

※一部と二部で別内容の講演となります。

[第一部使用機材]

(メーカー / 機種) 税込み定価)

[プリアンプ] Chord Electoroniccs / Ultima Pre 3 (¥1,760,000)

[パワーアンプ] Chord Electoroniccs / Ultima 5 (¥2,530,000)

[SACD トランスポート] Accuphase / DP-1000 (¥1,430,000)

[DA コンバーター] Accuphase / DC-1000 (¥1,430,000)

[スピーカー] KUDOS / TITAN 707 (¥5,280,000/ペア)

[スピーカー] B&W / 802D4B (¥5,522,000/ペア)

[第二部使用機材]

(メーカー / 機種) (税込み定価)

[プリアンプ] Accuohase / C-3900 (¥2,200,000)

[パワーアンプ] Accuphase / A-80 (¥1,540,000)

[SACD トランスポート] Accuphase / DP-1000 (¥1,430,000)

[DA コンバーター] Accuphase / DC-1000 (¥1,430,000)

[スピーカー] KUDOS / TITAN 707 (¥5,280,000/ペア)

[スピーカー] KUDOS / TITAN 505 (¥3,080,000/ペア)

会場 CYMA Event Room (シマムセン別館 2F)

講師 輸入代理店担当者

### 内容

一部では Accuphase DP-1000 と DC-1000 を音源として、スピーカーには B&W802D4、KUDOS TITAN707、TITAN 505 を使用し、Chord Electronics のプリアンプ ULTIMA PRE3 とパワーアンプ ULTIMA 5 の実力と、Chord Electronics と KUDOS の組み合わせでの再生を体感していただけます。

二部では Accuphase の機器を使用し、KUDOS の TITAN 707 と TITAN 505 との組み合わせで、KUDOS のスピーカーの音色や個性を体感していただけます。



当日のセッティング

### 3. 試聴会の経過

上記スケジュールの第 1 部に参加しました。

上記の SACD トランスポートと DA コンバーターは使用されず、音源としては、SACD や CD などは使用されず、Qobuz の配信音源が再生されました。入力機器は、下記が使用され、Roon の制御から M Scaler で 768kHz にアップサンプリングされて、USB-DAC の DAVE に送り出されるという構成でした。このような構成を採用するメリットや Roon のメリットの説明がありました。



Nano Core



Nano Bridge



HUGO M Scaler



DAVE

プリアンプとパワーアンプは、スイッチング電源が採用され、高性能のフィルターが採用されているので、ディジタル臭さは解消され、反応の速い音になっているとの説明がありました。

最初にスピーカーは B&W / 802D4B が使用され、ポップス系の曲の後、ハイドンの弦楽四重奏「ひばり」らしい曲が再生されました。倍音やヴィブラートの表現など単調で、演奏会で聴く印象には及びませんでした。

この後、女性ボーカルのテネシーワルツと男性ボーカルが再生され、まずまずの印象でしたが、このデモを通じて曲名や演奏者の紹介はありませんでしたので、正確な評価は差し控えたいというところです。

この後は、映画のサウンドトラックのような曲 2 曲と電子音楽が再生されました。音楽を聴かせるというよりは、音を聴かせるというデモに終始しました。

次にスピーカーを KUDOS / TITAN 707 に変更して、グランカッサとヴィオリンの現代曲らしいものと先ほどのテネシーワルツがかかりましたが、確かにスピーカーの再生能力は B&W / 802D4B より好感が持てましたが、入力系の印象は、解消されませんでした。これまでの試聴の印象からクラシックの再生は期待できなかろうということでお座しました。

あらかじめの試聴会の予告内容とは違った進行や曲目と演奏者の紹介なしの試聴会は避けてほしいものです。

#### 4. まとめ

ハイエンド機器で構成され、Roon から Qobuz の音源を受けるという最新の意欲的な再生の試みでしたが、クラシックに関するかぎり期待外れに音質でした。おそらくは LAN 機器や LAN の受信器からの LAN 経路のノイズ対策に問題があったのではない

かと推察しています。このため、Qobuz の音質、入力系やアンプの構成の真価を判断することができませんでした。

なお、CYMA 試聴会に先立ち、シマムセン 3F 試聴室において、持参したヴァイオリン協奏曲の CD をアキュフェーズと Sonas Faber のシステムで再生したところ、この CYMA 試聴会より、はるかに演奏会の雰囲気を再現できていました。

以上